

平成27年1月15日

「第2回 東京の成長に向けた公労使会議」に村越政雄会長が出席しました



1月14日、都庁において「第2回 東京の成長に向けた公労使会議」が開催され、村越政雄東京都商工会連合会会長(小金井市商工会会長)が出席しました。

今回は、東京都が策定した長期ビジョンを議題に、経営団体からは村越会長のほか東京商工会議所の三村会頭、東京都中小企業団体中央会の大村会長、東京経営者協会の鶴浦会長、労働者団体からは連合東京の大野会長が出席して、舛添東京都知事と意見交換を行いました。

冒頭、舛添都知事は、長期ビジョンは「世界一の都市・東京」の実現に向け、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会開催と10年後の2024年の東京の姿を示している。2020年大会の成功を起爆剤として、将来にわたる東京の持続的発展のため、少子高齢・人口減少社会への対応をはじめ、都政における様々な山積する課題を解決し、将来にわたる成長を確固たるものにしていかなければならない。「世界一の都市・東京」の実現に協力いただきたいと挨拶されました。

村越会長は、世界一の都市・東京の実現に向け、大都市の近郊にある自然と融合した多摩の良さと、島嶼の魅力の世界中に発信していただきたい。2020年オリンピック・パラリンピック東京大会の観戦などで訪れる外国の方々に多摩・島嶼地域の伝統的な文化や生活、素晴らしい自然を体験してもらって多くの方々に東京のファンとなってもらい、観光やビジネスに結びつけることを提言しました。

また、大手企業の海外進出による産業空洞化など、厳しい経営環境におかれている多摩地域のものづくり中小企業が新たな分野に挑戦し、起業や第二創業ができる新たな起業拠点を多摩地域に整備することを求めました。